

観光庁に対する要望 回答人数:210名

経済的支援

- 給付金／支援金支給 (38件)
- 下見等施設利用時の無料化／減免措置 (10件)

研修に係る経済的支援

- 無料化／費用の助成 (5件)
- インバウンド観光客の激減から史跡、設備の保全が十分行われないう状況が続いています。史跡、寺院、神社等の観光施設に補助金交付や貸し付け制度を確実に実行してほしい。
- 真に困窮している人への支援は必須。

その他の支援

- 通訳案内士を対象とした研修の企画・運営を希望 (9件)
- インバウンド客受け入れ／関係者全般への支援を希望 (6件)
- 不公平な支援に反対 (5件)
- その他支援 (7件)
 - ◇ コロナが治ったら、国内旅行から復活する様に、支援策を進めてほしい。
 - ◇ 外国人が入国できない中、通訳ガイドを本業とする者は大変な苦境に立たされています。国策により、国を閉ざしている中、通訳ガイドへのより手厚い支援を求めます。
 - ◇ 国家戦略であるインバウンド拡大において、現場で付加価値を最後に大きく高める存在として、通訳案内士は長年尽力してきました。しかし、免許制度を廃止し、ガイドを増産し、そしてこのコロナ禍で、通訳案内士は廃業を選択肢に入れざるを得ない状況です。将来にわたり、日本を正しく魅力的な国として国際社会にアピールしていく民間外交官として通訳案内士が貢献していくために、どうぞ十分な支援をお願いいたしたく存じます。
 - ◇ 自身は今、語学を生かした仕事に就いていませんが、通訳案内士の支援をどうぞ宜しくお願い致します。
 - ◇ 長引くコロナ禍害で通訳案内士がおかれている厳しい現状を考慮していただき、何らかの支援策を講じていただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。
 - ◇ 日本通訳案内士団体連合会の方針に同意します。現場の声が反映されることを心より願います。訪日外国人の方々に、日本の魅力をより多く感じていただけるように、直に関わる通訳案内士として努力を継続するための支援をお願いします。
 - ◇ ご支援お願い致します。

通訳案内士の質・地位保障

- 地位の保障・向上／「通訳案内士」資格の価値 (14件)
- 品質確保のための政策／支援の必要性 (4件)

通訳案内士法

法律

- 業務独占の復活 (7 件)
- 改正通訳案内士法の改正(改正前に戻す) (2 件)
- 通訳案内士試験の改善 (7 件)
 - ◇ 通訳案内士試験に関する情報発信・情報の明瞭化が必要
 - ◇ 質の良いガイドの育成するため等、試験実施意義の明確化 (3 件)
 - ◇ 試験内容の適正化(難易度) (2 件)
 - ◇ 試験実施会場の再考

通訳案内研修

- 無料化 (2 件)
- 実施機関の延期
 - ◇ 資格継続のために定期的に講習を受講する必要があるが、コロナ禍の 2020-2021 については期間に含めないでほしい。つまり受講年を 2 年繰り下げてほしい。受講にも諸費用が必要なため。
- コロナの期間はただインバウンド復活を待つだけではなく、オーバーツーリズムを冷静に反省する時期であったと思います。需要に押されて免許のないガイドを認めたり試験の語学レベルを落としたりした事を見直してほしい。5 年ごとの通訳案内研修はどうせオンライン実施が可能なら救急救命などは、より専門家に学びたい。

社会保障

- セイフティネット(生活・健康保障)の整備拡充 (10 件)
- 入国制限の緩和 (6 件)
- 感染症対策の整備(ワクチン・マスク) (5 件)

政策

- 雇用創出／就業支援（通訳案内士の活用） (22 件)
 - ◇ インバウンド講師などの仕事を生んでいただきたい。行政案件発注の際は、地方在住の案内士にも恩恵がいくように、仕様書に記載してもらいたい。観光庁案件を受注する東京地方の受託企業は、東京近郊在住の案内士に対して在勤ワークや内勤バイトを依頼している。同じ人にばかりメリットがあり、地方にはメリットがないのは不平等に感じる。
 - ◇ インバウンドで働くガイドの活用方法を他と連携して見いだして欲しい。小中高、英語の授業のアシスタントなど。
 - ◇ 様々なエージェントを通じてのガイド研修も有難いですが、研修ばかりでは収入につながりません。あるオンラインツアープラットフォームに「海外のゲストを対象にしたオンラインツアーは販売できないのか？」と質問したところ「税金の関係で難しい。」と言われその後

ももっぱら日本人を対象にしたオンラインツアーの企画しかありませんでした。国が率先してインバウンドガイドの仕事呼び込む活動をお願いします。

- ◇ 通訳案内士を活用した、セミナー等の拡充
- ◇ 現状のままでは通訳ガイドを廃業せざるを得ない人が多く出ると思います。通訳ガイドを活かす場の創出をお願いします。
- ◇ 観光庁からオンラインツアーの依頼が一部のガイドさんに限られてあったみたいですが、できれば公募するなり不公平のないように募集してほしい。大きな団体やらのコネのある方だけ仕事がもらえるのは不公平。
- ◇ 各観光案内所で通訳案内士の雇用を呼びかけて頂きたいです。
- ◇ まずはお疲れ様です。以前サミットに通訳案内士として関わり外務省、観光庁の皆さんが夜暇なく働いているのを目にし、今そうだろうと信じています。今の現状は誰もすぐには変えられません、しかし2025年の大阪、関西サミットでは通訳案内士を優先に使ってください、いまはそれだけです。よろしく願いいたします
- ◇ 全国通訳案内士の国家資格者にもっと就業の機会を与えたほしい。
- ◇ 訪日外国人旅行者が来ない間、ガイド業務以外の通訳案内士の活動の場をさらに増やしてほしい。
- ◇ 全国通訳案内士を優遇して下さい。地域通訳案内士と差がなく、苦勞して取得した意味がない。例えば、研修により旅行会社を開業できる資格を取れるなど。
- ◇ 通訳案内士の実績、能力を活用して、小、中学校への派遣講師など、通訳案内士の活躍の場を文部省と協力して、創設してほしい。
- ◇ フリーの通訳案内士は、コロナが収束しない限りは先の見通しも立たない。やむを得ず、自分の専門外の分野で派遣やパートとして働かざるを得ない。語学力や接客スキルを持つ通訳ガイドに対し、スキルを活かせる仕事・雇用の創出を含めた継続的な支援をお願いしたい。
- ◇ 自治体のインバウンド受け入れ体制強化事業等に対し、通訳案内士の参画を推進する事を希望する。
- ◇ 通訳案内士向けの研修をやることは悪いことではありません。しかし研修ばかり参加してなかなか実践の場に立つことのできないガイドが多くいます。今後これまでより多くの外国人観光客を迎え入れようとしている今、ガイドをやりたいけど活躍の場がないガイド向けにどうか実践の機会を与えてください。国内にいるたくさんの外国人向けの日本旅行のガイド業務から実践しても良いと思います。そういう動きを作っていただくことをお願い致します。
- ◇ 通訳案内士有資格者の雇用を維持するために①外国人旅行者のみを対象にした「企画旅行」に同行して「添乗員（旅程管理主任者）業務」を行う者は「全国通訳案内士」資格が必要である旨の旅行業法改正を要望できないできないだろうか？さらには、②海外旅行の「企画旅行」において、添乗員（旅程管理主任者）が、海外での外国語ガイド等のガイドダンス等を日本語に通訳する場合、当該添乗員は「全国通訳案内士」資格が必要である旨の旅行業法改正を要望できないだろうか。③通訳案内士法の通訳案内業務の定義が「・・・外国語を使って旅行に関する案内をおこなうこと・・・」とある。特に「・・・旅行に関する案内を行うこと」についての意味・業務範
- ◇ 有資格者の社会的な職業認知の向上、有資格者の雇用の機会の維持のために、通訳案内士の業務についての解釈通達の発出を希望・要望します。また、旅程管理者（添乗員）の業務と通訳案内士の業務は、極めて類似したものとなっていることから、外国人旅行者を対象に実施する「企画旅行」に同行して法定・旅程管理業務（施行規則§32-(2)(3)(4)）を行う者（旅程管理主任者）は、全国通訳案内士有資格者でなければならない旨の、旅行業法の一部改正を要望したい。詳細は別紙も参照いただきたくお願い申し上げます。

- ◇ 2018年度の通訳案内士法の改正で、資格に関わらずガイド案内が可能になったことにより、有償での仕事が地元のボランティア団体などに依頼される案件があります。特に都道府県などの公の機関に於いては通訳案内士を雇用していただきたい。
- ◇ 政府による入国制限に因り、約2年間全国通訳案内士としての就業の機会を失い、全国通訳案内士は経済的に困窮し、大きな支援を求めています。廃業する者も数多くおり、加えて、新たに通訳案内士資格を取得しようとする人も大きく減少し、インバウンド政策維持という側面で大きな危機感があります。それらを鑑み、是非とも、継続的な就業機会の拡大を図って頂けますようお願いいたします。
- ◇ 通訳案内士の資格を取った後のコロナ禍でのチャンスロスが大きいのでご対応をお願いします。
- ◇ 通訳案内士の活用や雇用を実現する政策を取るべきである。
- ◇ 全国通訳案内士としての仕事の機会を増やしてほしい。

➤ 環境整備／仕組みづくり（15件）

- ◇ 2023年10月から開始予定のインボイス制度は我々にとって大打撃となるため、経済が復活するまで開始を延期したり、何等かの緩和措置を取ったりするなどの対策を切に希望します。
- ◇ 観光の質を高めるため、通訳案内士に優先的に仕事が割り振られるような仕組みを作してほしい。
- ◇ コロナ収束後の観光客増加に対応する策を今から具体的に取り組んでいただきたい。
- ◇ 海外にある旅行業者、エージェントと日本の通訳案内士が再び関係を構築し直すための施策を行ってほしい。コロナ後、（With コロナ）に通訳案内士がインバウンド観光客の旅行リクエストにこたえられるような、お金の給付ではなく、仕事がしやすくなる環境を作してほしい。
- ◇ 通訳案内士を起業しても、仕事にならないという現在の実情を鑑みて、研修や支援、育成のための枠組みづくりを行っていただきたいです。
- ◇ インバウンド観光再開に向けた体制整備に尽力願いたい。
- ◇ コロナ後の新たな観光施設、プロセル等に関する認証基準の明確化
- ◇ コロナ禍後、通訳案内士がスムーズに業務を再開できるよう環境の整備を行ってほしい。例えば、海外からの観光客の陰性証明や、ガイド自身の陰性証明・ワクチン接種証明の発行などインバウンド向けの制度構築をお願いしたい。
- ◇ 他のアジアのリゾート地などと連携した日本の特色を活かした観光資源の Refinement と訴求、地域の他の産業（農林水産、伝統工芸、服飾、建築など）との Synergy が図れる観光クラスター創生など
- ◇ インバウンド復活後、受け入れ状態が整わない、ということにならぬようお願い致します。
- ◇ 今後はあまりにも低価格でガイド料を設定するような旅行代理店には指導できるよう観光庁としてガイド料金の標準価格を設定してほしい。
- ◇ 通訳案内士に支給されるものは観光庁で申請を統一していただきたい。
- ◇ 通訳ガイドが著作権を気にせず、ダウンロードや増刷に使える写真や資料の整備をお願いします。
- ◇ 昨年通訳案内士の資格を取ったばかりです。コロナ禍でまだ就労の機会はありませんが、インバウンドが回復した場合、安心して働けるよう、制度の整備をよろしく願います。
- ◇ 添乗員との違いが酷すぎる。添乗員時代は年会費など払う必要は無かった。全面的な改革をお願いしたい。

◇ 安心して旅行できるような環境整備に尽力をお願いします。

➤ 事業 (12 件)

- ◇ 予算の切れ目が緑の切れ目、の単年度事業にならない形での事業提案をお願いしたいと思います。都心部の、長く関係性を続けるつもりがない事業者に入って来られても、地方サイドからすると戸惑うばかりです。足を運んで時間を遣って、地方の現実と向き合える事業者の採択を是非お願いしたいと思います。トラベライフ取得支援をお願いしたいと思います。サステイナブルをキーワードに掲げたとしても、自腹でやれる事業者は限られているためです。よろしくお願い致します。
- ◇ 旅行社を通じての、コロナ対策事業の継続を希望します。
- ◇ 地域の隠れたスポットや体験を入れた FAM ツアーを企画してほしい。
- ◇ コロナ後を展望した観光立国ビジョンの策定及び施策の確実な実施
- ◇ コロナ収束後に使用できる日本クーポン（現金として使用できる）をぜひ外国人観光客に今から発行していただきたい。
- ◇ コロナ後のインバウンド受け入れ体制を整備するための事業で、通訳案内士に様々な仕事を提供してほしい。
- ◇ 昨年『世界水準の DMO 形成促進事業』の際に応募しましたが、ガイド実績がわずかに足りないとのことで登録できませんでした。プロのガイド経験は少ないですが、ガイド件数の半数以上で 5 つ星の評価を獲得しております。新人ガイドにも実績に応じてチャンスを得けるような事業をお願いいたします。
- ◇ 観光地の環境や住宅地域の清潔さを守るため、観光客のゴミのポイ捨てをゼロ化する諸施策を実施頂きたい。例えば、京都市八坂の塔や清水寺界限で食べ歩き食を提供している業者には店内に座席を作らせる等。
- ◇ コロナで誰も来ない今、中国人観光客の日本での粗暴な振る舞いを是正する方策を立てて欲しい。
- ◇ GOTO トラベル等の展開を。
- ◇ “Go to Travel”のような一過性のバラマキ政策ではなく、観光客を迎える側の業者に DX や PR、設備刷新など体制の強化を促すような補助、制度に投資していただきたいです。申請、受給までの簡素化、スピードも必須です。

➤ 地域の観光人材インバウンド対応研修 (8 件)

◇ 実施／拡充 (6 件)

- 地方では本当に宿泊業、商店など言語の対応に困っているので、まさに案内士にうってつけの仕事。アフターコロナに備えて、通訳案内士のこの資格を生かせるよう、インバウンド対策を観光庁としてもぜひ推進してもらいたい。
- 昨年は緊急事態宣言下で派遣されなかった。今年は派遣が可能になることを願う。
- 通訳案内士の活用プロジェクトなどへの対応は評価している。インバウンド需要が少ない今、ピンチをチャンスととらえインバウンド対応人材拡大のための通訳案内士活用をさらに進めて欲しい。
- 期待していたが、稼働はゼロ。今年は少しでもチャンスがあれば本当にありがたい。
- 就業した。今年も期待。
- もっと活性化させてほしい。

- ◇ 改善 (2 件)
 - 地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修講師の再募集
 - もっと継続性、実効性があり、今まで通訳案内業で生計を立てていた通訳案内士が生計をたてられるような事業を行うよう強く希望する。

情報発信／プロモーション

➤ ビジョンの提示 (10 件)

- ◇ どういう状況になったら観光客が入国できるかの指標を明示してほしい。
- ◇ コロナの収束は見通せないが国家的視点からの中長期目標とそのための方策を示して頂くと我々にとっては指針となり大きな励みとなる。
- ◇ 海外からの新しい変異種に接するインバウンド事業者が注意すべき指針を出して欲しい。
- ◇ 今後の指針を出来るだけクリアーな形となるべく早く示して頂きたいです。
- ◇ 今後のインバウンド全体戦略について方向性を示してほしい。
- ◇ 主要国で、外国人入国を現時点で認めていないのは日本を含む少数派です。コロナと経済の両立を図る方策を、日本の世論が受け入れに納得するような形で示してほしい。
- ◇ 今のところ、コロナの状況を受けてインバウンド業界を守るために、観光庁がどのような働きをしているのかほとんどわからない。
- ◇ インバウンドが復活した際の通訳ガイド不足についてどのように考えているのか、何故通訳ガイド業廃業食い止め対策を取らないのか理由を知りたい。
- ◇ 政府内における観光庁の存在感が伝わってこない。
- ◇ コロナは予測不可能な面もあるが、どのような基準になったら、インバウンドを再開できるか検討してほしい。

➤ プロモーション活動 (9 件)

- ◇ 観光庁から旅行業界に携わっている事業者へ、適用できる支援金制度を広報してほしい。
- ◇ コロナ禍の出口がみえてきた段階で、外国人旅行客を日本に呼び込む大胆な、インセンティブを含むプロモーションを行なって欲しい。
- ◇ 通訳案内士の地位について、対外的なアピールが不足している。若い年齢でガイドを目指す人にとって、魅力がなくなっていることを理解してほしい。
- ◇ 国際観光業の更なる必要性をメディアを通じて発信し続けて頂きたいです。
- ◇ 通訳案内士の必要性と実態を他の省庁に周知いただきたく、お願いいたします。
- ◇ 海外からの観光がストップしていることは危惧されることですが、日本の観光文化の魅力を発信し続けてください。
- ◇ 通訳案内士という職業を世に知らしめる広報活動に力を入れて欲しい。過去に映画「送り人」がヒットした事により納棺師と言う職業の認知度が上がったように、こう言う時期だからこそ相応の予算を当てて通訳案内士と言う名前を社会に浸透させるべく、思い切った職業認知度アップを図ってほしい。(脚本三谷幸喜とかでドラマや映画を作成するとか。)
- ◇ 安心して観光が出来るように 感染症対策の具体的、有効的な指導を各所に徹底してアピールしてほしい。バスの消毒、観光箇所の予約システム、レストランの安全対策など。今は各所で一生けん命にコロナと対峙しているが、それを観光庁がもっと後押しして発信してほしいです。

- ◇ 全国通訳案内士の認知度アップ、地位向上をお願いします。狭き門をくぐりぬける国家試験にもかかわらず、民間資格である英検より認知度が低いです。語学学習者以外にもこの職の認知が浸透し、仕事が保証される体制の確立をし、「通訳案内士になりたい。」と思ってもらえるような日本社会にさせていただくようよろしくお願いします。

➤ 情報提供／情報交換 (5 件)

- ◇ 私はイタリア語通訳案内士です。観光庁からの仕事紹介、救援などは何も聞いておりません。多言語に渡る仕事の紹介などをして頂くと大変有難いです。
- ◇ 様々な支援制度があるようだが、もっと詳しく広く国民に知らせてほしい。
- ◇ インバウンド再開後、旅行中、コンタクトをとり、適切なアドバイスを受けられる体制をつくり、旅行者に周知して頂きたい。
- ◇ なぜ、団体に所属しておかないと講習等受けなければいけないものの情報が入ってこないのか。団体に所属していなくとも、情報が入るシステムを作って欲しい。毎年年会費を払い無駄にしか思えない。特にコロナ禍でインバウンドもない中、年会費を変わず徴収されるシステムはいかかなものかと。
- ◇ この機に、通訳案内士、ホテル、観光施設、観光協会、DMO などとの交流会を設定していただきたい。

その他の意見

➤ 通訳案内士の現状把握を希望 (2 件)

- ◇ インバウンドの仕事が全くなく、経済的な問題に加え、ガイドとしての意欲すらも薄らぎつつある現状を把握して頂きたいとお願い致します。
- ◇ 通訳案内士は、外国人観光客の入国規制が緩和されるまでは仕事がない。つまり、飲食業よりも厳しい立場にいることを理解してほしいです。

- 専門かどうか実態をつかむことが難しいと思うが、もう少し何とかして欲しい。このままでは生活保護を申請せざるを得なくなります。
- 国家試験合格後に活躍したいと願っていましたが、そもそも、仕事の依頼そのものがないため、働きようがありません。これでは生活もままならないので、通訳案内士は断念して他の仕事に就かざるを得ません。何とか助けて下さい。
- コロナ禍で通訳案内士としての将来性があまり期待できません。折角一生懸命努力して取った資格なのに残念です。
- 何でも良いので観光関係で働きたく、国内添乗の仕事を始めましたが、こちらもオミクロンの蔓延で仕事がなくなりました。
- 「上質なサービスを提供するインバウンドガイドの育成研修」の事業者の選考基準、参加ガイドの選考基準が不透明に感じます。
- 特に要望はありません。通訳案内士と言う資格がガイドの仕事に従事する上で不要となり、またAI化が進むにつれこれまでの通訳案内士の仕事には将来性が期待できないと感じる今日この頃です。何か新しい形でお客様をおもてなしをするような仕事を自分たちで創出する以外に通訳案内士としての仕事を続けていく事はできないと感じております。また観光業について先が見えない現在、国の支援に頼らず別の道を探す等の個々の努力が必要かと考えております。

- 失業状態が2年以上に及んでいる全国通訳案内士の仲間が大勢います。免許取得に大変な労力を要し、一人前のガイドになるには役10年程の経験がいる全国通訳案内士が消滅しかかっています。極めて残念です。
- 現状の支援体制ではインバウンド観光立国としての日本の将来を見通すことは大変困難です。
- 2020年当初、支援のお願いをしたところ、観光庁では何もできないので他の省庁が出す支援制度を活用してくださいと言われた。対応は親切でしたが、何か他人事って感じでした。
- 2016年に通訳案内士の登録をし、活動を始めたところで観光業がストップしてしまいました。幸い年金を受給しており、直ちに生計に支障はありませんが、当初の生活設計に著しい妨げがあります。観光客及び関係者の安全安心を図りながら、早い機会に観光業が回復するよう期待します。
- 天下りの国際観光振興機構よ、通称の「日本政府観光局」の名称を使うな！やめろう！！政府機関でもないのに、恥を知れ！！税金で高官の墓場を作るじゃない！！

以上